

コミュニティ・スクール便り No. 17

南三陸町立伊里前小学校

2022. 2. 9 CS担当 山口

2年生で民話を聞かせてもらいました〈学習支援部〉

仲松敏子さんをお招きして、南三陸町に伝わる民話の語りをしていただきました。「むがすむがす、あっどごに」で始まり、「えんつこまーんま」で終わる、南三陸町に伝わる民話です。はじめに、石泉の民話「こうどんどのりの雨ごい石」を聞きました。聞き終えた子供たちは、「石に穴を開けて、水が出るのが不思議」「こうどんどのりがかわいそうで悲しいお話」という感想をもちました。

そのほかにも、当時の戸倉村と十三浜のお話「神割崎伝説」や「きつねにだまされたしげそうさん」などを聞きました。語られる言葉から場面を想像し、驚いたり笑ったりしながら、民話に親しむことができました。



仲松さんは、子供たちからの「どれくらいの民話を覚えているんですか」という質問に、「数え切れないほど覚えているよ」と答え、「何年前から語りをしているんですか」という質問には、「20年以上前からしているよ」と答えてくださいました。

「第1集 ふるさと歌津の民話と伝説」 (著者：高橋静男)

学校の図書室にあります。仲松さんに教えていただいた話も載っています。伊里前小学校運営協議会委員の小野寺寛さんも、刊行に携わっているそうです。

仲松さんは、イベントがあると、入谷の「ひころの里」でも語り部をしているそうです。

